



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月12日

上場会社名 株式会社 フォーバル
 コード番号 8275 URL <http://www.forval.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中島 将典
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 加藤 康二
 四半期報告書提出予定日 平成26年2月12日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

TEL 03-3498-1541

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	27,177	6.3	778	21.2	788	8.6	653	74.0
25年3月期第3四半期	25,576	2.6	641	47.8	726	63.3	375	25.4

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 577百万円 (△15.2%) 25年3月期第3四半期 680百万円 (690.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	49.29	—
25年3月期第3四半期	27.70	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第3四半期	15,054	6,465	40.0	454.13
25年3月期	16,596	6,180	34.5	431.93

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 6,023百万円 25年3月期 5,728百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	17.50	17.50
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

配当予想の修正については、本日(平成26年2月12日)公表いたしました「配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	36,000	2.3	1,370	16.1	1,400	13.6	940	18.7	70.87

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期3Q	13,866,311 株	25年3月期	13,866,311 株
② 期末自己株式数	26年3月期3Q	603,186 株	25年3月期	603,147 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期3Q	13,263,132 株	25年3月期3Q	13,563,164 株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項につきましては、添付資料3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご参照下さい。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、これまで好調であった中国を始めとする新興国の成長が鈍化するなど不透明な状況が続いていましたが、米国では雇用環境や住宅市場に改善の兆しが見られ始めたほか、我が国経済も政権交代を機に大胆な追加金融緩和策の採用により極端な円高の修正と株高が進行し消費者マインドの改善の兆しが見られる等、デフレ脱却・景気回復への期待が高まっています。

また、当社グループの事業領域である情報通信分野においては、顧客のIT投資に対するスタンスは依然として慎重な一方で、スマートフォンやタブレット端末関連、コンテンツサービスやクラウドサービス関連など、順調に拡大している分野も見られました。

このような経営環境下、当社グループは「情報通信コンサルタント」として情報通信コンサルティング市場の確立を目指し、ITコンサルティングサービス「アイコン」を通して、その中でも特に、情報通信の知識・技術を駆使した経営コンサルティングサービスと独自の海外進出ノウハウによる経営コンサルティングサービスに注力することで差別化を図り、顧客企業の経営を支援しながら関係強化に取り組んでおります。

このような環境のもと当社グループの当第3四半期連結累計期間の業績は以下のようになりました。

売上高は前年同期に比べ1,601百万円増加し、27,177百万円（前年同期比6.3%増）となりました。

利益面では「アイコン」等が順調に拡大し利益率が改善したことで売上総利益が前年同期に比べ472百万円増加（前年同期比6.4%増）した一方で、販売費及び一般管理費は事業拡大に伴う人員増による人件費の増加等があったものの、その他の経費の抑制に努めたことにより前年同期に比べ335百万円の増加（前年同期比4.9%増）にとどまったことで、営業利益は778百万円（前年同期比21.2%増）、経常利益は788百万円（前年同期比8.6%増）となりました。なお、四半期純利益は投資有価証券売却益を164百万円計上したこと等により653百万円（前年同期比74.0%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

<フォーバルビジネスグループ>

「アイコン」が順調に拡大したことに加え、その相乗効果でビジネスフォンやパソコン、顧客の売上拡大を目的としたホームページ制作等が順調に推移したほか、ビジネスフォンやパソコンの施工保守ならびに光ファイバーやLAN工事等を手掛ける子会社の外部向け売上が拡大したことにより、売上高は11,548百万円（前年同期比5.1%増）、セグメント利益は357百万円（前年同期比42.1%増）となりました。

<フォーバルテレコムビジネスグループ>

保険ならびに印刷関連の子会社が順調に推移したことにより、売上高は8,426百万円（前年同期比2.4%増）、セグメント利益は341百万円（前年同期比4.9%増）となりました。

<モバイルショップビジネスグループ>

スマートフォン等の販売が好調に推移したことにより、売上高は6,860百万円（前年同期比12.4%増）、セグメント利益は122百万円（前年同期比20.2%増）となりました。

<その他事業グループ>

人材関連サービスが堅調に推移したほか、IT教育サービスを提供している企業を子会社化したことにより、売上高は341百万円（前年同期比33.5%増）、その一方で子会社化した企業の影響でセグメント損失は14百万円（前年同期は22百万円の利益）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ1,541百万円減少し15,054百万円となりました。

流動資産は10,244百万円となり、前連結会計年度末比1,450百万円の減少となりました。これは主として現金及び預金が416百万円、受取手形及び売掛金が860百万円減少したためです。

固定資産は4,810百万円となり、前連結会計年度末比90百万円の減少となりました。これは主として無形固定資産が65百万円増加したのに対して、有形固定資産が41百万円、投資有価証券の時価下落や売却に伴い投資その他の資産が114百万円減少したためです。

流動負債は6,516百万円となり、前連結会計年度末比1,818百万円の減少となりました。これは主として支払手形及び買掛金が698百万円、未払法人税等が447百万円、社債および短期借入金が430百万円減少したためです。

固定負債は2,072百万円となり、前連結会計年度末比8百万円の減少となりました。これは主として退職給付引当金が73百万円増加したのに対して、長期借入金が53百万円、長期リース債務が31百万円減少したためです。

純資産は6,465百万円となり、前連結会計年度末比285百万円の増加となりました。これは主として第3四半期純利益653百万円に対して、配当により232百万円、保有有価証券の時価下落等によりその他有価証券評価差額金が130百万円減少したためです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績は特別利益の発生等により平成25年7月9日に業績予想の修正を公表しており、現在の業績は順調に推移しております。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当していませんが、当第3四半期連結会計期間より、株式会社アイテック及び株式会社アップルツリーは株式を100%取得したため、連結の範囲に含めております。

また、第2四半期連結会計期間において、Hanel Software Solutions Joint Stock Companyを、当第3四半期連結会計期間において、株式会社ネットリソースマネジメントを特分法適用関連会社に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,268,710	3,852,570
受取手形及び売掛金	4,968,889	4,108,074
商品及び製品	682,665	563,404
仕掛品	82,556	79,634
原材料及び貯蔵品	8,162	21,601
その他	1,793,550	1,664,771
貸倒引当金	△110,083	△45,839
流動資産合計	11,694,450	10,244,215
固定資産		
有形固定資産	1,072,186	1,030,388
無形固定資産		
のれん	380,693	425,025
その他	208,717	230,273
無形固定資産合計	589,411	655,299
投資その他の資産		
投資有価証券	2,267,264	1,966,488
その他	1,356,014	1,593,074
貸倒引当金	△383,598	△434,725
投資その他の資産合計	3,239,679	3,124,837
固定資産合計	4,901,278	4,810,525
繰延資産	515	—
資産合計	16,596,243	15,054,741
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,280,444	3,581,467
短期借入金	327,821	197,593
未払金	1,463,761	1,269,505
未払法人税等	501,902	54,819
賞与引当金	362,536	266,772
役員賞与引当金	81,000	75,450
返品調整引当金	—	20,268
その他	1,317,731	1,051,052
流動負債合計	8,335,198	6,516,930
固定負債		
長期借入金	250,787	196,804
退職給付引当金	1,658,647	1,731,687
その他	171,254	143,824
固定負債合計	2,080,689	2,072,316
負債合計	10,415,888	8,589,246

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,150,294	4,150,294
資本剰余金	2,488,479	2,488,479
利益剰余金	△1,628,530	△1,206,832
自己株式	△250,231	△250,251
株主資本合計	4,760,012	5,181,691
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	966,520	836,113
為替換算調整勘定	2,286	5,335
その他の包括利益累計額合計	968,806	841,449
新株予約権	5,283	6,244
少数株主持分	446,253	436,110
純資産合計	6,180,355	6,465,495
負債純資産合計	16,596,243	15,054,741

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	25,576,188	27,177,994
売上原価	18,147,524	19,277,077
売上総利益	7,428,664	7,900,917
販売費及び一般管理費	6,786,802	7,122,733
営業利益	641,862	778,183
営業外収益		
受取利息	3,249	4,293
受取配当金	26,612	31,490
持分法による投資利益	3,566	—
貸倒引当金戻入額	27,795	13,485
その他	61,896	78,971
営業外収益合計	123,120	128,241
営業外費用		
支払利息	17,572	12,661
持分法による投資損失	—	61,146
貸倒引当金繰入額	—	24,650
その他	21,261	19,345
営業外費用合計	38,834	117,803
経常利益	726,148	788,621
特別利益		
固定資産売却益	151	—
投資有価証券売却益	1,484	164,385
子会社株式売却益	—	77,100
資産除去債務消滅益	3,109	—
その他	—	6,201
特別利益合計	4,745	247,686
特別損失		
固定資産除売却損	8,738	27,995
投資有価証券評価損	1,942	22,627
減損損失	566	38,454
その他	75,880	3,583
特別損失合計	87,127	92,659
税金等調整前四半期純利益	643,767	943,647
法人税、住民税及び事業税	179,782	181,742
法人税等調整額	32,972	57,516
法人税等合計	212,755	239,259
少数株主損益調整前四半期純利益	431,012	704,388
少数株主利益	55,246	50,585
四半期純利益	375,765	653,803

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	431,012	704,388
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	248,049	△130,406
持分法適用会社に対する持分相当額	1,085	3,049
その他の包括利益合計	249,135	△127,357
四半期包括利益	680,147	577,031
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	624,607	526,446
少数株主に係る四半期包括利益	55,539	50,585

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	フォーバル ビジネス グループ	フォーバル テレコム ビジネス グループ	モバイル ショップ ビジネス グループ	計		
売上高						
外部顧客への売上高	10,990,106	8,226,693	6,103,396	25,320,196	255,992	25,576,188
セグメント間の内部売上 高又は振替高	500,506	687,184	26,860	1,214,551	14,849	1,229,400
計	11,490,613	8,913,877	6,130,256	26,534,747	270,841	26,805,589
セグメント利益	251,838	325,704	102,226	679,769	22,624	702,393

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、技術者派遣事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	679,769
「その他」の区分の利益	22,624
セグメント間取引消去	3,477
のれん償却額	△64,008
四半期連結損益計算書の営業利益	641,862

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	フォーバル ビジネス グループ	フォーバル テレコム ビジネス グループ	モバイル ショップ ビジネス グループ	計		
売上高						
外部顧客への売上高	11,548,851	8,426,818	6,860,676	26,836,346	341,648	27,177,994
セグメント間の内部売上 高又は振替高	381,716	619,753	12,455	1,013,925	—	1,013,925
計	11,930,567	9,046,571	6,873,132	27,850,271	341,648	28,191,920
セグメント利益又は損失 (△)	357,806	341,517	122,921	822,245	△14,137	808,108

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、技術者派遣事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	822,245
「その他」の区分の損失(△)	△14,137
セグメント間取引消去	32,996
のれん償却額	△62,921
四半期連結損益計算書の営業利益	778,183

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産にかかる重要な減損損失)

「フォーバルビジネスグループ」セグメントにおいて、事業用資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては13,177千円であります。

「フォーバルテレコムビジネスグループ」セグメントにおいて、ソフトウェア及び遊休資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては25,276千円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

「その他」の区分において、株式会社アイテック及び株式会社アップルツリーの株式を取得し、連結子会社としました。なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間においては108,815千円であります。